

## 特集

# おかえり

- ◇生まれ故郷で愛犬たちと暮らす
- ◆交流から滞在、そして定住へ
  - 農家民泊
  - 田舎体験・ボランティア
  - 田舎暮らし体験施設
  - 就業支援・住まい
  - 空き家に関する各種事業

# 生まれ故郷で 愛犬たちと暮らす

益田市匹見町三出原集落で、洋  
犬2匹、柴犬2匹と暮らす豊田良  
一さん(64)・恵子さん(65)夫婦。  
同集落出身の良一さんは、高校  
卒業後、大阪で就職。その後、東

京へ居を移し、ビルやマンション  
といった建物の貯水槽清掃業に携  
わったのが縁で、独立。一本気で  
仕事に厳しい良一さんは、顧客か  
らの信頼が厚く、繁忙期には従業

員のほか、島根出身の大学  
生を雇い、大きな仕事を手  
がけるほどに会社を成長さ  
せた。

## 【都会の生活に疲れて】

帰郷する半年前のことだ  
った。「仕事を辞めて、匹  
見に帰る」。良一さんは突  
然恵子さんにそう告げた。  
稼ぎは今より随分多かった  
が出費も多かった。取引先  
の接待や、仕事で厳しく接  
する従業員へのフォローに  
食事や酒をご馳走した。ま  
た癒しを求めて、犬3匹と  
猫5匹、大型熱帯魚のアロ  
ワナやレッドテールキャッ

トフィッシュを飼ったが、ペ  
ットの飼育費だけでも月15万  
は下らなかつた。

「東京は朝起きてから寝る  
まで、何をするにもお金がか  
かる。稼げば稼ぐほど出てい  
くところ。そんな暮らしに疲  
れたんじゃない」。引越すな  
ら生まれ故郷の匹見にと、腹  
をくくっていた。

「寝耳に水」。困惑したのは、  
恵子さんだった。生粋の東京  
人。「物価も安く、住み慣れた  
東京は離れがたかった」。が、  
最終的に長男・慎一さんの後  
押しで、平成25年6月、匹見  
へ移住した。

## 【私の親代わり】

30年にわたり飲食店や福祉施設  
の厨房で働いてきた恵子さんは、  
「益田市立匹見高齢者生活福祉セ  
ンターふれあいの園」で利用者の  
食事を作っている。

過去の経験から、「食べられる  
うちは健康な証拠」と、美味しく  
食べてもらえるよう、一人ひとり  
の好き嫌いや毎日の体調を確認し、

食事作りに活かしている。

また栄養バランスだけでなく、  
見た目にも楽しいハート型のコロ  
ツケやハワイ料理として知られる  
ロコモコ丼、手作りお菓子を提  
供するなど、食への関心や喜びを高  
める手間と工夫も怠らない。

そんな恵子さんの思いが通じて  
か、「美味しかった」「次も楽し  
みにしているよ」と声がかかると  
何よりも嬉しいと言う。



一人ひとりの体調を考えながら食事づくりをする恵子さん



愛犬とともに、豊田良一さん(右)と恵子さん

実は恵子さん、両親を早く亡くしている。「利用者の方たちは私の親代わり」と言ってはばかりらない。「いつまでも元気でいてほしい」。そう願っている。

## 【よう帰ってきたね】

「匹見峡温泉やすらぎの湯」に勤務する良一さんは、ベッドメイキング、ボイラーの炊き上げといった施設管理に加え、窓ガラスの清掃や雨漏りの補修などの仕事をときばきとこなしている。

温泉を訪れた地元客から、「良ちゃん、よう帰ってきたね」と温かい声をかけてもらうのが何より嬉しいという。「今では主人は匹見弁をしゃべり、だんだん田舎（匹見）の人になっているんですよ」。そう、恵さんは話す。

## 【驚きの連続】

移住から間もなく2年を迎える。良一さんは、移住前に会社を慎一さんに譲った。今でも馴染みの客から指名を受けて出張するが、「東京の暮らしは全く恋しくない

## 少しずつ、ゆったりと ひきみ時間を刻んで

よ」と、きつぱり。「収入はかなり減ったけど、贅沢しなければ生活していける。お金では買えないものが匹見にはあるからね」。

自身を「回遊魚のように、じつとしていられない性分」と例えるように、休日は家中を徹底的に掃除したり、独学で覚えた野菜作りに精を出す。「畑仕事は未経験だったけど、キャベツやカボチャ、ナス、ウコン…と、食べきれない量の野菜ができて、近所の人におすそ分けしたよ」。土と親しむ暮らしが板についてきた。

一方、恵さんにとって、匹見の暮らしは驚きの連続だった。厳寒の冬。街灯はわずか。夜は真っ暗で、不夜城の東京とは正反対だ。出会う人も少ない。ふらりとコーヒー店やファーストフード店、回転寿司に通っていたところが懐かしい。タヌキ、サル、キツネ、クマ…。都会なら動物園にいる生き物

に、道端でばったり出会うことも少くない。

「サルがカボチャを小脇に抱えて歩いていたり、石の上に腰かけてプチトマトを食べたりする姿に出くわしたんですよ」。恵さんは、そのときの様子を興奮気味に話してくれた。

「三出原の人はとても親切で有り難いです。けれど正直、生活様式や食文化の違いにはまだ馴れないところもあって…」。

恵さんは年に数回、孫に会いに東京へ帰る。近所や利用者の方に、しばらく匹見を離れることを話すと、「ゆつくり休んでおいでも匹見に帰ってきんさいよ」と声をかけてもらう。

本人も気づかぬうちに、地域の人々との心の距離が縮まっている。



ボイラー室で作業をする良一さん



ぐりお わさまる ゆずりん

# ～交流から滞在、そして定住へ～

ちょこっと匹見を体験したい方は…

## ◇農家民泊…匹見町には、3軒の農家民泊があります。



みよし  
民泊「三四四」

《体験内容》

ものづくり体験（布ぞうり、かご編みなど）、山菜採り、田舎料理体験、春・秋農業体験など

■宿泊および調理体験料 6,000円

■益田市匹見町道川イ214

Tel/Fax. 0856-58-0020



うつだに  
農家民泊「内容とちの郷」

《体験内容》

わさびの苗植え・収穫体験、山菜採り、料理体験（こんにやく、わさびの醤油漬けなど）、もちつきなど

■宿泊および調理体験料 6,000円

■益田市匹見町石谷口561

Tel/Fax. 0856-56-0589



なごばら  
農家民泊「長尾原のへや」

《体験内容》

農作業体験（稲刈り、牛の世話など）、苔玉作り、農産加工品作り（漬け物、こんにやく、ようかん、ジャムなど）

■宿泊および調理体験料 6,000円

■益田市匹見町澄川イ789

Tel/Fax. 0856-56-0471

## ◇田舎体験・ボランティア

### 【田舎体験】

匹見町では登山や雪山歩きなど、豊かな自然を生かした体験をはじめ、「田舎料理体験」や「ものづくり体験」、「収穫体験」「歴史・文化体験」などを楽しむことができます。



わさび収穫体験

### 【ボランティア】

少子高齢化が進む匹見町では、集落内の共同作業やイベント開催などが年々困難になっています。そこで、地域外の方にボランティア会員登録をしていただき、軽度の作業に携わってもらうことで、田舎と都市との交流を図っています。



ブルーベリー摘み取り作業

## もっと匹見に滞在したい方は…

田舎暮らしの体験や、農林業またはその他の産業に関する技術や経営ノウハウを習得するために滞在可能な施設として、期限つきのお試し施設「益田市立田舎暮らし体験施設」を開設しています。

《使用者の条件》

- (1) 益田市への移住を強く希望し、田舎暮らしを体験しようとする人
- (2) 農林業その他の産業に関する技術や経営ノウハウの習得のため研修を受けようとする人

《使用期間》

1ヵ月以上3年以内

《使用料》

平成27年2月現在

| 施設区分     | 戸数(空き戸数) | 使用料(月額) |
|----------|----------|---------|
| 単身用(1DK) | 2(2)     | 8,100円  |
| 世帯用(3DK) | 2(1)     | 16,000円 |

※1部屋に1台分の駐車スペースを用意しています。

《使用について》

施設の使用については、市長の許可を受ける必要があります。使用希望の方は、「田舎暮らし体験施設使用申込書」を下記までご提出下さい。

(詳しくは、益田市のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせ下さい。)



## 匹見への定住をお考えの方は…

### ◇就業支援

益田市外から移住し、農林水産業へ就業することを目的として産業体験を行う人に、「益田市農林水産業就業支援助成金」制度による支援策で、就業と定住を支援しています。

### ◇住まい

空き家や公営住宅をご紹介します。

### ////// 空き家に関する各種事業 //////

#### 空き家バンク制度

益田市は、空き家の有効活用とUIターン希望者の定住促進を図るため、「空き家バンク制度」を創設しています。この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、UIターン希望者にそれぞれ登録してもらい、総合支所が窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。

年々、田舎暮らしを強く希望する方々が増えています。匹見町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸し住宅にしてもいい」「売却してもいい」とお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

#### 益田市空き家改修事業

「空き家バンク制度」の住宅を利用して定住する場合、その住宅を改修した際の経費の2分の1以内(上限50万円)を①空き家の購入者または入居者(UIターン者に限る)、または②UIターン者と賃貸借契約を締結した空き家の所有者に補助します。ただし、経費の額が30万円以上であるものに限りません。

※この他にも、空き家や住宅に関する補助制度があります。

## ◎ 定住・UIターンに関する問い合わせ先

益田市匹見総合支所 地域づくり推進課  
〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260

電話 0856-56-0305 FAX 0856-56-0362  
ホームページ <http://www.city.masuda.lg.jp/teiju/>